



Shift knob
シフトノブ(20,520円)



Transfer Shift knob
トランスファーシフトノブ(12,960円)



Side Brake Grip
サイドブレーキグリップ(15,120円)



デザインの検討画像

完成度の高さを実現させたのは、日本の職人達。アルミの削り出しも、本革縫いも、これらのノブは、全てMADE IN JAPAN。職人の技術が魅せる工芸品と言ってもいい。ノブ一個の値段とすれば、少々値が張る気もするが、それだけ、いやそれ以上の価値はある！



カラーバリエーションは、インテリアのカラーに合わせて、写真のイエローのほかにブルー/オレンジ/ベージュ/ブラックをラインナップ。あえてインテリアと異なるカラーでコーディネートしてみるのもあり。カラーのオーダーもできる。

見 た瞬間に、自分の中の欲しいもののリストに加わるモノがある。その一つがGENICのLineノブ3種。FJクルーザーは「カッコよくて可愛いクルマ」という絶妙なキャラが魅力。その感覚にうまく同調し、なつかしい「IQロボットのような温もりを与えた」という製作者の狙いは見事的中。この「カッコ可愛い」ノブ達を生み出した。素材はアルミと本革の組み合わせ。このアルミの削り出し、外形はどの部分も少しのアルミがかかっている。工業製品の美しさは、シンプルな形状にこそあらわれると常々思っているのだが、このアルミ部分の仕上げは美しく、触り心地はいたって滑らか。アクセントには、ラインと6本のビス、ギヤの数字やブランドロゴまで、過不足のない装飾となっている。丸い形のモノに、本革をきれいに張ることが難しいことくらい、素人にとって想像に難くない。パンチングされたブラックと、ボディカラーに合わせた本革、その合わせ目は、握ったところで、なんの違和感を感じることなく、規則正しく並ぶステッチも、デザインとして効いている。見た目が良くても、操作性はどうなのか？ と聞かれれば、これこそなんの違和感もないし、かえって操作はしやすくなっている。特に気になるのは、シフトノブの、シャフトとの結合部分。ガッチリはまって、どんなにシフトチェンジを繰り返しても、ガタつきなど全くない。それは言ってみれば当たり前で、GENICブランドの母体会社は、大手自動車メーカーの純正部品を作り、レーシングカーや国内外のモーターショーへの出展モデルも製作し、コンセプトカーや映画用の特殊車両まで請ける、その品質と性能については絶対のお墨付きなのだ。

総額48,600円のインテリアパーツ
高価だけど、効果あり!

©GENIC
<http://www.genic-jpn.com/>



絶対に欲しいもののリストに入れておきたい!